久石 譲

作曲家、指揮者

「アルフレッド・ヒッチコックとバーナード・ハーマン、セルジオ・レオーネとエンニオ・モリコーネ、スティーブン・スピルバーグとジョン・ウィリアムズ。偉大な映画監督の中には、音楽家との相互に豊かな関係を長年にわたって培ってきた人たちがいる。日本のアニメーション界の巨匠・宮崎駿と、作曲家・ピアニスト・指揮者である久石譲との数十年にわたるパートナーシップは、間違いなくこの名声の殿堂に名を刻むだろう」

−−− NYタイムズ

ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団　コンポーザー・イン・アソシエーション

日本センチュリー交響楽団　音楽監督

国立音楽大学在学中よりミニマル・ミュージックに興味を持ち、現代音楽の作曲家として出発。作曲家、指揮者、ピアニストとして活躍し、繊細なシンフォニック作品やソロ作品、また世界的な成功を収めた映画音楽で現代音楽界に確固たる地位を築く。ソロアルバムは40枚近くをリリース、映画音楽では100作品以上を手掛けており、現代で最も著名な作曲家の一人。指揮者としても世界的なオーケストラとの共演を重ね、大きな注目を集めている。

久石は『風の谷のナウシカ』以来の宮崎駿との長年にわたるコラボレーションで知られ、その音楽で数々の国際的な賞を受賞。シンフォニック、ジャズ、エレクトロニック、ミニマルといったジャンルを融合させ、繊細で想像力豊かな音楽性を表現している。ワールドツアー「Joe Hisaishi Symphonic Concert: the Music from Studio Ghibli Films of Hayao Miyazaki」は、ニューヨークのマディソン・スクエア・ガーデンでの3夜にわたる公演をはじめ、パリのラ・デファンス、ミュンヘンのオリンピック・ホールを満席にするなど多くの観客を魅了した。2024年秋には、ロンドンのロイヤル・アルバート・ホールでの2日間のコンサート「Hisaishi Symphonic」において交響組曲「もののけ姫」、久石譲：交響曲第2番、ブリテン：歌劇「ピーター・グライムズ」より「4つの海の間奏曲」等をロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団と演奏する。

最近では、トロント交響楽団、シカゴ交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団などと共演。映画音楽作品と並行して、ラヴェル、ライヒ、ムソルグスキー、ブラームス、ペルトなどのクラシック・レパートリーや、『DA・MA・SHI・絵』、『The East Land Symphony』などの自作交響曲も指揮している。また、シアトル交響楽団とは3回のコンサートを完売・成功させたほか、同世代の現代音楽に特化した室内楽コンサートや若手聴衆とのパネルディスカッションを行なった。2024-2025年シーズンには、サンフランシスコ交響楽団とフィラデルフィア管弦楽団にデビュー。2023年にハリウッド・ボウルで初共演したロサンゼルス・フィルハーモニックからは2024年秋に再び招聘を受け、同楽団からの委嘱によるハープ協奏曲の世界初演にハープ奏者エマニュエル・セイソンと臨む。

2023年には、ドイツ・グラモフォンの専属アーティストとして、宮崎駿監督作品の音楽を新たに構成しロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団と収録した『A Symphonic Celebration』をリリース。最新アルバム『Joe Hisaishi in Vienna』では、『交響曲第2番』と、ヴィオリストのアントワン・タメスティをソリストに迎えた『Viola Saga』の2曲をウィーン交響楽団と世界初録音している。

2014年からは、現代の優れた音楽を紹介するコンサートシリーズ「JOE HISAISHI presents MUSIC FUTURE」を主宰。ニコ・ミューリー、ブライス・デスナー、ナディア・シロタ、フィリップ・グラス、デヴィッド・ラング、テリー・ライリーなどのアーティストと共演し、その作品と才能を一堂に集めている。同シリーズは2022年にはニューヨークのカーネギーホール、2024年にはシアトルで公演を行い、同年夏には東京でシリーズ第11回を迎えた。また、2017年からは若手作曲家のための「ヤング・コンポーザーズ・コンペティション」を実施し、受賞作品にMUSIC FUTUREでの初演の機会を提供している。

2009年紫綬褒章、2023年旭日小綬章を受章。2020年より新日本フィルハーモニー交響楽団ミュージック・パートナー、現在日本センチュリー交響楽団の首席客演指揮者を務め、2025年4月より同楽団の音楽監督に就任予定。2024年4月、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団のコンポーザー・イン・アソシエーションに任命された。

ハリソン・パロットは、久石譲のワールドワイド・ジェネラル・マネジメントを務める。